

足腰の痛む寒中を気化かして孫が温泉に誘いてくれぬ
塩原てる子
雪掻き後隣の夫妻と酒を酌む苦役のちの染しひと
藤牧 文江
「爺ちゃん」と出勤の吾に
駆寄れるおの子のぬくき手

★常念句会
紐引いて灯す座敷の余寒か
山崎たつよ
啓誓の日を返したる寺の池
小島 州子
春の雨屋根のある橋渡りた
降旗 房
留守電の返事聞いている雨水

★はたち句会
眠り覚め目の艶戻る箱柳
高野 輝夫
売れ残る土地に生えたり猫
野井 文生
水仙の一株大地のとびら開
臼井さと子
失せしもの転がり出でし春

鶴川千枝子
鷹鷹と化すウインドのバイ
康壽琴
オリン
春一番信濃の空に飛行雲
三沢門寿人
人麻呂の歎みたる富士や若
菜摘む 大久保志寿子
女来て叩く鰐口狹果つ

5月	10	50	10	30	50	10	30	50	10	30	50
6月	10	30	50	10	30	50	10	30	50	10	30
7月	10	30	50	10	30	50	10	30	50	10	30
8月	10	30	50	10	30	50	10	30	50	10	30
9月	10	30	50	10	30	50	10	30	50	10	30
10月	10	30	50	10	30	50	10	30	50	10	30
11月	10	30	50	10	30	50	10	30	50	10	30
12月	10	30	50	10	30	50	10	30	50	10	30

(龍虎占術は数字でまし、方が吉。数字は上から金選)

七赤金星「一勝ってよし」のニコニコから。「負けてよし」のニコニコから。車注八白土星「ニコニコ積極的に應こうとするから勝てえ」：朝ようとするから願え：九紫火星「一層の下の方持ち」が「つづけていてあけられる幸せ」がある…

望岳山荘

いっ

— 中嶋領雄 —
新学期が始まる。国際化、グローバル化が進むなかで最近では日本の大学にもセメスター制が導入されつつあり、秋入学の学生も徐々に増えているけれど、大学入試センターの試験との関連もあって、やはり大多数の学生はこの春に入学す

る。
希望を抱いて入学してくる学生諸君に、限られた時間のなかで何を語るべきか、入学式の学長式辞にはいつも工夫を強いられるが、東京外国語大学のように世界各国・各地域からの留学生の比率が多い場合（政府派遣のいわゆる国費留学生を含めると二〇パーセントに近い）、東西の古典の二節もしくは金言、格言など引用して済ますというわけにはいか



リレーコラム

ない。したがって私は、自分の専門に近づけて国際社会の変動の局面のなかから教訓を得るかたちで語りかける場合が多い。国際社会における「道義」とか、国際公共材としての「人権」などについてである。外国語運用能力の重要性については、いうまでもない。私自身が新入生に期

新入生への期待

待することの一つは、どんな目的をもって大学で学び、どのようなキャンパス・ライフを設計するかを各自が出来るだけ早く、出来るだけ明確に決定して欲しいということである。なぜなら、これらの時代は、どの大学を卒業したかという学歴よりも、どんな学問の能力をどのように身に

つけたのが各自の個性ともどもに厳しく問われる方向へと急速に転換しつつあるからだ。国際社会に貢献でき
革には当然、抵抗もあり摩擦も生じる。東京工業大学、一橋大学、東京医科歯科大学と東京外国語大学とのいわゆる「四大大学連合」構想にも、学内の一部に根強い反対があつて苦慮したけれど、最後には多数の支持を得て機関決定し、去る三月十五日には「四大大学連合憲章」が調印された。新学期早々の四月二十日には「ミレニアムにおける科学と学問」と題して、発足記念の四

る人材の養成を目的にしている大学として、大学の理念や目標に達わぬようにと大学改革を進めつつあるのも、このような時代的要請に因應するためだが、改
今年は久々に若干名の新入生があつたようなので、この四月九日の入学式が楽しみである。
(東京外国語大学長 松本市出身)